

9月1日は「防災の日」

防災週間 8月30日(日)～9月5日(土)



台風・高潮、地震、津波等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えをする日として9月1日を「防災の日」、またこの日を含む1週間を「防災週間」として定めています。いざという時にあわてないように、日ごろから家庭や地域で災害について話し合ひましょう。

問 危機管理課 ☎内線241

平成30年7月豪雨 写真提供：国土交通省 中国地方整備局

風水害に備える

身を守るための正しい判断と迅速な行動
新型コロナに対応した5つのポイント

近年、全国的に風水害が増え、今年7月には九州地方で豪雨災害による大きな被害が発生しています。特に台風が発生しやすい今の時期は、風水害から身を守るために各個人で備えましょう。

また、新型コロナウイルス感染症の感染者数が再び増えていきます。避難所の密を避けるため、本当に避難が必要かどうかも含め、正しい判断と迅速な行動を心掛けてください。

●避難のタイミング

気象状況等によって、町は情報を発表し避難所を開設します。情報を正確に把握し、適切な避難行動を心掛けましょう。

●避難準備・高齢者等避難開始

避難に時間がかかる要配慮者とその支援者は避難開始とそれ以外の人は避難準備開始

●避難勧告

災害が発生する恐れのある住民は、避難所へ避難を開始

●避難指示(緊急)

対象地域の住民は避難完了、まだ避難をしていない住民は直ちに避難

既に避難行動が危険な場合、なるべく高く、崖から離れた安全な部屋に避難

① 災害のリスクを知ろう

・災害が発生する前に、町が作成したハザードマップや浸水想定図を確認(全戸配布済)する

・避難が本当に必要な場所かどうか、自宅周辺の危険を確認しておく

※ハザードマップは町ホームページや防災アプリでも確認ができます。

③ 避難先を検討しよう

・安全な場所にある親戚や知人の家等に避難することを検討する

・基本的には開設されている指定避難所へ、移動ができない場合は地域会館へ避難する

④ 判断と行動は迅速に

・風水害は比較的発生予想ができる災害のため、テレビやラジオ、インターネットなどで災害情報を収集し、早めの避難を心掛ける

・町から発表される情報を得られるよう、メール配信やツイッター、防災アプリをあらかじめ登録する

⑤ 体調不良は自己申告

・避難中に体調が悪くなった場合は、必ず受付で避難所担当者に申告する

※避難前の体調不良時は「帰国者・接触者相談窓口感染症専用ダイヤル」へご相談ください。(0570) 056799 (24時間対応)



② 避難の際に持っていく物

・マスクや消毒液を可能な限り自分で用意する

・飲食物は可能な限り持参する

※ごみエチケットを心掛けましょう。また、アルコール飲料の持込みは厳禁です。

自助 町も町民も、役割はそれぞれ

災害の発生時は、町や消防などの関係機関が被害の拡大防止や負傷者の救助「公助」にあたりますが、対応には限界があります。自分の身を自分の努力によって守る「自助」や、地域や近隣の人が互いに協力しながら防災活動を行う「共助」の取り組みが重要になります。

なかでも災害から生命を守るためにまず重要になるのが「自助」です。地震発生時に、住宅の耐震化や家具固定の有無によって、生存の可能性は大きく変わります。また、自宅や滞在していることが多い場所の危険性を理解することも大切です。



「自分(家族)の身は自分で守る」という考えを持ち、そのために何をしておけば良いのか家族で話し合い、災害に備えましょう。

地震に備える

いつ起こるかが分からない災害には、普段からの備えと、落ち着いた行動

地震の揺れを感じたら、まず身を守る安全確保行動を行います。津波やがけ崩れの危険がある場合は安全確保行動を行った後、すぐ避難！ 防災行政無線や緊急速報メール(エリアメール)に注意し、直ちに判断し、積極的な避難を心掛けましょう。

地震発生後、津波やがけ崩れの恐れがないなど安全が確保できなければ、隣近所で助け合い初期消火や安否確認をします。普段から消火器はすぐ手に取りやすい場所に設置しましょう。安否確認の方法は地区によって異なりますので、役員さんなどに確認しておきましょう。

災害が落ち着いて、自宅が危険な場合は、学校などの避難所に向かってください。

●備蓄品・非常持出品

救援物資など外部からの支援が届くまでの間を生活するための『備蓄品』は、できれば7日分を用意。災害が起こり、危険が迫ってきた自宅から緊急的に避難する際に持ち出す『非常持出品』は、すぐに持ち出せるところに用意しておきましょう。



●避難所・避難経路

地震発生！まずは身の安全！
▼安全確保行動



- ① DROP! : まずひくく
- ② COVER! : あたまをまもり
- ③ HOLD ON! : うごかない



いざ災害が起きたときにあわてずに避難するためにも、避難所の場所や避難経路を事前に確認しておきましょう。滞っていることが多い場所や通ることが多い通路など、災害が起こったような危険が起こる可能性があるかを、普段から家族で話し合ひましょう。

今すぐ登録！町の緊急情報を確実にお届け

普段から役立つ防災情報 一覧

スマートフォン専用町公式防災アプリ

= おおいそ防災・行政ナビ =

- 防災行政無線の情報を音声と文字で確認
町の気象警報やJアラートの情報も即時に受信！
- 周辺の避難所などを地図上で確認
災害時には開設状況も判断可能！
- ハザードマップのほか町のお知らせも確認

1 各アプリストアで、『ライフビジョン』と検索するか下記QRを読み込み、インストール



- 2 アプリを起動し、『地域を選択してログイン』を選択する。
- 3 町内在住 ⇒ お住まいの郵便番号7桁を入力
町外在住 ⇒ 「2558555」を入力

= 大磯町防災メール配信 =

防災行政無線放送内容や、気象庁発表の気象警報、町から防災に関する情報をいち早く配信！

- 1 パソコン、または携帯電話のメールより、以下のアドレスに空メールを送信！
bousai.oiso-town@raiden2.ktaiwork.jp
- 2 折返しのメールに記載のURLから本登録を実施！
- 3 『登録完了』のメールが届き、完了。

= 大磯町防災生活情報ツイッター =

メールと併せて活用！
ツイッターにアクセスして(@bousaiiso)をフォロー!!

= 防災行政無線ダイヤル =

防災行政無線放送を電話で聞き直せます！

はっさい おおいそ
0120-83-0150
フリーダイヤル